



熊一小CSだより

ふるさとを愛し

愛される熊一小

No.1

令和5年7月31日

熊野第一小学校

校長 水戸美穂子

3年生 総合的な学習の時間

3年生は総合的な学習の時間に「熊野第一小学校の自慢を見付けよう」という学習を春から進めてきています。学校の色々な場所を探検する中で校舎前にある「坊田かずまの碑」を見て「坊田かずまさんて誰なんだろう?どうしてここにあるんだろう?」と疑問をもった子供たち。先生や地域の方の協力を得て、「坊田かずまの会」の坊田謙治さんと小田克文さんがよく知っておられるということを知り、早速電話をかけてお話をさせていただけないかとお願いしました。すると、お二人とも快く引き受けてくださり、6月15日(木)に小学校で「坊田かずま」についてお話を聞く機会をもつことができました。そして、なんと、坊田かずまの作った歌を生演奏で子供たちに聞かせてあげようと地域のコーラスサークル「コーロ・デ・ヒラソル」の方々も来てくださいました。当日は、坊田かずまが残した偉業だけでなく、かずまがふるさと熊野から東京に向かった経緯や音楽づくりへの熱い思いなども教えていただきました。また、かずまの声が録音されたレコードを蓄音機で聴かせてもいただきました。その後、「コーロ・デ・ヒラソル」の方の歌声を聞き最後に子供たちも一緒に「赤い絵日傘」を歌いました。後日、「コーロ・デ・ヒラソル」の皆さんから温かいお手紙を頂き大喜びの子供たち。お返しのお手紙を書こうと計画を進めています。

また、探検の中で学校の校歌には4番の歌詞があったことやビオトープの歴史について知りたいと思った子供たち。今度は元PTA会長の京面さんをお願いすると、またまた快く引き受けてくださり、6月28日(水)に学校でお話をさせていただきました。校歌や校舎、ビオトープがたくさんの方々の思いや協力があって出来上がったことなどを教えていただきました。

子供たちが知りたいと思ったことにすぐに答えてくださる温かい地域の方に支えられていることを改めて実感しました。本当に感謝です。子供たちのノートには学んだことがたくさん書かれていました。熊野第一小の自慢をしっかり見つけられたと思います。



様々な地域の方が子供たちに関わってくださっています。



低学年本の読み聞かせ



朝のあいさつ運動



4年生福祉体験



5年生防災教室



夏休み科学研究